

# 『ビジネスを学ぶためのミクロ経済学入門』

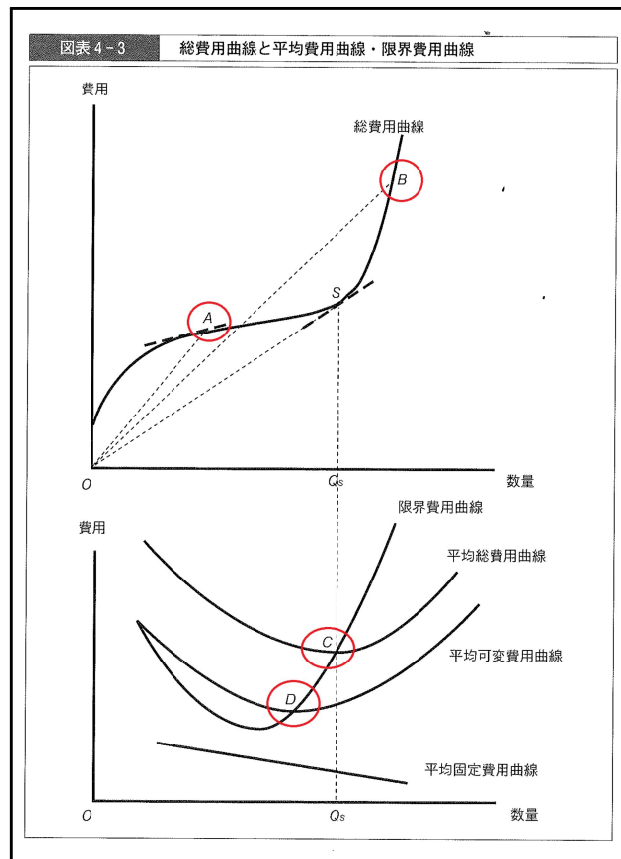
## 〈お詫びと訂正〉

2025年1月21日  
(株)中央経済社

『ビジネスを学ぶためのミクロ経済学入門』に下記の誤りがございました。謹んでお詫びするとともに訂正いたします。

記

刷 数	場 所	誤	正
第1版 第1刷	p.24 8行目	yが $\beta$ <u>変化する</u>	yが $\beta$ の大きさ分、 <b>減少する</b>
	p.65 下から3行目	平均 <u>固定</u> 費用	平均 <b>可変</b> 費用
	p.66 図表4-3	<b>赤枠部分 (A, B, C, D)</b> を加える。	



p.67 15行目	限界費用より <b>小さい</b> ときに逡減し，限界費用より <b>大きい</b> ときに逡増	限界費用より <b>大きい</b> ときに逡減し，限界費用より <b>小さい</b> ときに逡増
p.73 下から8行目	垂直な場合は <b>完全弾力的</b> な	垂直な場合は <b>完全非弾力的</b> な
p.73 下から7行目	水平な場合は <b>完全非弾力的</b> な	水平な場合は <b>完全弾力的</b> な
p.75 練習問題3	価格が <b>100</b> から <b>150</b> に	価格が <b>200</b> から <b>300</b> に
p.75 練習問題5	$P = \frac{1}{2} Q + 100$	<b><math>Q = 2P - 200</math></b>
p.117 下から6行目 下から5行目	新製品を <b>出す</b>	新製品を <b>出さない</b>
p.138 6行目	<b>就労</b> 人口が減少し，	<b>労働力</b> 人口が減少し，
12行目	女性の労働 <b>に対する選好</b> が変化し，	女性の労働 <b>環境</b> が変化し，
p.262 第4章 3.	価格= <b>100</b> のとき供給量= <b>150</b> 。価格= <b>150</b> のとき供給量= <b>175</b> 。したがって，価格が <b>100</b> から <b>150</b> になると，供給量は <b>150</b> から <b>175</b> へと増加する。	価格= <b>200</b> のとき供給量= <b>200</b> 。価格= <b>300</b> のとき供給量= <b>400</b> 。したがって，価格が <b>200</b> から <b>300</b> になると，供給量は <b>200</b> から <b>400</b> へと増加する。
4.	供給曲線は200だけ <b>左方</b> にシフトするので， <b><math>P = 0.5Q + 100 - 200 = 0.5Q - 100</math></b>	供給曲線は200だけ <b>右方</b> にシフトするので， <b><math>P = 0.5(Q - 200) + 100 = 0.5Q - 0</math></b>
第1版 第1～4刷	p.125 下から5行目 「 <b>高価格</b> 」戦略か「 <b>低価格</b> 」戦略を採用することができ、	「 <b>価格維持</b> 」戦略か「 <b>値下げ</b> 」戦略を採用することができ、

以上